

# 短く 鮮やかに 土橋芳次回顧展

土橋芳次は、1908(明治41)年、中巨摩郡貢川村富竹(現 甲府市富竹)に生まれ、山梨県立農林学校(現 県立農林高等学校)を卒業後、独学で洋画を勉強しました。1933(昭和8)年、第1回東光会展で《果園の冬》が入選し、1934(昭和9)年には本格的に洋画を学ぶため上京し、熊岡美彦に師事しました。1936(昭和11)年、甲府市櫻町の内藤呉服店にて第1回個展を開催。また昭和11年文展で《北アの一劃》が初入選。1937(昭和12)年には第5回東光会展に《お花畑》他2点を出品し入選。《お花畑》がM氏奨励賞を受賞。同年、農林学校同窓会有志により、甲府市櫻町の内藤呉服店にて第2回個展を開催したほか、第1回新文展で《美ヶ森》が入選。また、時事新報、読売新聞などで挿絵や記事の連載を担当しました。

県内画壇では、はじめに六人社に入会。甲斐美術会にも出品し、1937(昭和12)年、山梨美術協会創立会員になるなど、将来を嘱望されていましたが、1938(昭和13)年、29歳という若さで病没しました。

代表作である《お花畑》は旧甲府駅待合室に飾られ、戦時中は出征兵士を送る絵と言われて県民に親しまれました。

本展では、《お花畑》を初めとして、ご遺族からご寄贈いただいた作品を中心に、スケッチや諸資料などを展示し、土橋の画業に迫ります。

短くも鮮やかに生きた土橋芳次の世界をお楽しみください。



①



③



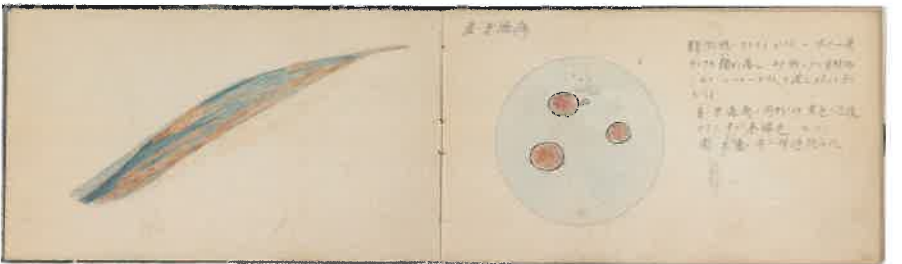
⑤



②



④



⑥

## 関連イベント

### 美術講演会「土橋芳次の生涯」

日時 12月7日(日)午後2時～ 講師 矢野晴代(当館学芸員)  
場所 美術館研修室 参加料 入館料に含む  
定員 50名(11月22日(土)午前9時30分より受付)

- ① 《果園の冬》1933年
- ② 《登高前》1935年
- ③ 《農鳥岳》1936年
- ④ 《美ヶ森》1937年
- ⑤ 資料3 スケッチ
- ⑥ 資料1 病理実験ノート

#### 交通のご案内

- 電車・バス JR中央線 甲府駅下車(バス利用35分)  
山梨交通バスターミナル  
西野経由小笠原下仲町行き「市立美術館」下車  
十五所経由御沢営業所行き「戸田町」下車 徒歩10分
- 自動車 県道42号線沿い  
中央自動車道 甲府昭和I.C.より20分 県道42号沿い  
中部横断自動車道 白根I.C.・南アルプスI.C.より5分 県道42号沿い



公式HP



Facebook



Instagram

\*展覧会、各イベントは延期または中止になる可能性があります。  
ご来館前に当館ホームページ等をご確認ください。



南アルプス市立美術館  
MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART

〒400-0306  
山梨県南アルプス市小笠原1281  
TEL 055-282-6600 FAX 055-282-6601